

【健康状態のチェック】

- ・登所された際、必ず担当スタッフの間診を受けてください。
- ・ご家庭からの連絡事項がある場合は、担当保育スタッフにお伝えください。
- ・登所時の検温で体温が37.5度以上あることを認めた場合、呼吸器症状・消化器症状がある等、健康状態に異常がある場合は、お預かりできません。
- ・岡山大学病院が定める病院エリアへの立入制限の対象者となる場合、お預かりができません。

【お預かり中の発熱等体調不良について】

- ・保育中に37.5℃の発熱、咳嗽、鼻水、嘔吐・下痢などの症状が認められた場合、当直医師の判断により新型コロナウイルスの検査やご帰宅をお願いする場合があります。

【感染症について】

- ・感染症の可能性がある時や、感染症と診断された時は、すぐに【連絡先】①②のいずれかにお知らせください。
- ・お預かり児および同居親族が新型コロナウイルス感染症に感染された場合、PCR検査を受けられた、PCR検査を受けられる予定がおありの場合も、すぐに【連絡先】①②のいずれかにお知らせください。

【連絡先】

- ①岡山大学病院ダイバーシティ推進センター（TEL：086-235-6835）
- ②ますかっど病児保育ルーム（TEL：086-235-7301）

- ・指定の感染症については、所定の「治癒証明書」により医師の証明をもらってから登所なさってください。書類はダイバーシティ推進センターのホームページよりダウンロードできます。証明書等が不要の感染症については、担当スタッフへ罹患期間や通院状況の報告をお願いします。

▶ 指定の感染症は裏面をご確認ください

【指定の感染症一覧】※新型コロナウイルス感染症についてはケースに応じて対応します

病名	登園のめやす	治癒証明書
インフルエンザ	発症後5日を経過し、かつ解熱後3日を経過していること	× 不要
麻疹（はしか）	解熱後3日を経過していること	○ 必要
風しん	発しんが消失していること	
水痘（水ぼうそう）	全ての発しんが痂皮（かさぶた）化していること	
流行性耳下腺炎 （おたふくかぜ、ムンプス）	耳下腺、顎下腺、舌下腺の膨張が発現してから5日経過し、かつ全身状態が良好になっていること	
咽頭結膜熱（プール熱）	発熱、充血等の主な症状が消失した後、2日を経過していること	
流行性角結膜炎	結膜炎の症状が消失していること	
百日咳	特有の咳が消失していること、又は5日間の適正な抗生薬による治療が終了していること	
結核	医師により感染のおそれがないと認められていること	
腸管出血性大腸菌感染症		
急性出血性結膜炎		
侵襲性髄膜炎菌感染症 （髄膜炎菌性髄膜炎）		
溶連菌感染症		
伝染性膿痂疹（とびひ）※1	抗菌薬の内服後24～48時間が経過し、かつ全身状態が良好になっていること	
マイコプラズマ肺炎	発熱や激しい咳が治まっていること	
手足口病	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事が取れていること	
伝染性紅斑（りんご病）	全身状態が良好になっていること	
ウイルス性胃腸炎 （ノロ・ロタウイルス感染症）	嘔吐・下痢等の症状が治まり、普段の食事が取れていること	
ヘルパンギーナ	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事が取れていること	
RSウイルス感染症	呼吸器症状が消失し、全身状態が良いこと	
帯状疱疹しん	すべての発しんが痂皮（かさぶた化）していること	
突発性発しん	解熱して機嫌も良く、全身状態が良いこと	

【保育施設において特に適切な対応が求められる感染症】

- ・アタマジラミ症、疥癬、伝染性軟属腫（水いぼ）、B型肝炎

※1 とびひは医師の診断によります。

※2 ご不明な点がありましたら、必ず登所前にご確認ください。